

17015

題：まだ言い切るのは早い

名前：

現在のインターネットの普及率は高く、そこで流れている情報量は莫大なものです。私もインターネットを通じて情報を得ますし、ニュースも読みます。私の友人でも新聞のこの読みやめ、全てをインターネットにまかしている人がいます。しかし、私は現在の状態で「新聞や雑誌はいらない」と決断するのは少し早いように思えます。

私は毎朝通学の電車の中で新聞を読んでいるので、そのことを例に挙げたいと思います。

最近では、特にWILLCOMなどから小型の持ち運べるPCが出ています。電車の中でこれを使えば新聞はいらないという理屈のひもとけになります。しかし、まだこのPCは一般的でなく、持っている人は実に少数です。また、落としたり雨に濡れたりなど故障の原因は身の回りに多く、安価になるまで買って持ち運ぶのはリスクが高すぎます。

次に、電車の中では、読み終わって新聞や

雑誌を網棚に置いて、次に欲しい人がそれをもらっていくという習慣ができてしまっています。確かに、これは著作権等の面で問題があるのかも知れませんが、しかし、私はとても便利だと思っていますし、実際そう思っている人は少なくないはずです。

以上の理由により、今のところは全てをインターネットに任せようとはおぼろげに早くと私は考えます。

将来的に新聞や雑誌をなくするという選択肢は、それは大いにあります。現時点でニュースはネットで見ることができ、メールも配信されています。全てそうであれば、使用した紙の量が大幅に減り、ゴミ減量化・資源節約にもなります。携帯型PCが普及すれば、よりオンラインで情報を得ることができるようになりますし、もう携帯電話ではそういったサービスが提供されているところもあるでしょう。

従って、我々市民の要望が大きければ、新聞・雑誌の全オンライン化も実現すること

1800字
以上